

作成日
改訂日 2015/4/28

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称
製品コード
会社名
住所
電話番号
緊急時の電話番号
FAX番号
メールアドレス
推奨用途及び使用上の制限

熱交換パイプ用グリス MTJ

片岡線材株式会社
愛知県津島市藤里町3丁目1番地
0567-24-5963
0567-24-5963(就業時間内)
0567-25-7511
kataokasenzai@heatpipe.co.jp
熱交換パイプと挿入穴との隙間を埋める為の高熱伝導性シリコン混合物

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類実施日
物理化学的危険性

H22.2.19、政府向けGHS分類ガイドンス(H21.3版)を使用
火薬類 区分外
可燃性・引火性ガス 分類対象外
可燃性・引火性エアゾール 分類対象外
支燃性・酸化性ガス類 分類対象外
高压ガス 分類対象外
引火性液体 区分外
可燃性固体 分類対象外
自己反応性化学品 区分外
自然発火性液体 区分外
自然発火性固体 分類対象外
自己発熱性化学品 区分外
水反応可燃性化学品 区分外
酸化性液体 区分外
酸化性固体 分類対象外
有機過酸化物 区分外
金属腐食性物質 分類できない
急性毒性(経口) 区分外
急性毒性(経皮) 分類できない
急性毒性(吸入:ガス) 分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない
急性毒性(吸入:粉じん) 分類できない
急性毒性(吸入:ミスト) 分類できない
皮膚腐食性・刺激性 分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 分類できない
呼吸器感作性 分類できない
皮膚感作性 分類できない
生殖細胞変異原性 分類できない
発がん性 分類できない
生殖毒性 分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 区分1(肺、全身毒性)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 区分1(肺・吸入)
吸引性呼吸器有害性 分類できない

健康に対する有害性

環境に対する有害性
分類実施日

急性毒性:H22.2.19、政府向けGHS分類ガイドンス(H21.3版)を使用
慢性毒性:H23.3.15、GHS分類マニュアル(H22.7版)を使用
水生環境急性有害性 区分1
水生環境慢性有害性 区分1

ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
 肺、全身毒性の障害
 長期又は反復ばく露による肺の障害
 水生生物に非常に強い毒性
 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 適切な個人用保護具を使用すること。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 環境への放出を避けること。

【応急措置】

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
 ばく露した場合、医師に連絡すること。
 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
 漏出物を回収すること。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国・地域情報

3. 組成及び成分情報

化学物質 化学名又は一般名
 ポリジメチルシロキサン
 CAS番号: 63148-62-9

シリコーン混和物

EC 番号: なし 20 - 30 %

酸化亜鉛
 CAS番号: 1314-13-2

EC 番号: 215-222-5 50 - 60 %

酸化アルミニウム
 CAS番号: 1344-28-1

EC 番号: 215-691-6 10 - 20 %

4. 応急措置

吸入した場合
 皮膚に付着した場合

新鮮な空気の場所に移し、安静にすること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 直ちに水と石鹼で洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合、医師に連絡すること。
 直ちに流水で15分間以上注意深く洗うこと。

眼に入った場合

目の刺激が持続する場合は、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

吐かせてはいけない。意識がある場合にはグラス1-3杯程度の水を飲ませる。意識がない場合には口からは何も与えてはいけない。刺激が残っている場合には医師の診察を受ける。

予想される急性症状及び遅発性症状
 最も重要な兆候及び症状
 応急措置をする者の保護
 医師に対する特別注意事項

データなし
 ヒュームを吸入すると、金属ヒューム熱を引き起こすことがある。
 データなし
 金属ヒューム熱の症状は2~3時間経過するまで現われない。

5. 消火剤

使ってはならない消火剤
 特有の危険有害性

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス
 棒状放水

特有の消火方法

加熱されると分解して、腐食性及び毒性の煙霧を発生するおそれがある。
 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
 消火活動は風上から行う。危険でなければ火災区域から容器を移動する。水噴霧で周辺のタンク、建物などを冷却する。

消火を行う者の保護

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	<p>全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 環境中に放出してはならない。 少量の場合、ウェスなどに吸収後、空容器に回収する。 多量の場合、土砂、土嚢などで流出を防止後、空容器に回収する。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。</p>
<p>環境に対する注意事項 回収・中和 封じ込め及び浄化方法・機材 二次災害の防止策</p>	
7. 取扱い及び保管上の注意	
<p>取扱い</p> <p>技術的対策 局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項</p>	<p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 使用前に取扱説明書入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 特別に技術的対策は必要としない。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 容器を密閉して冷暗所にて保存すること。 施錠して保管すること。 データなし</p>
<p>保管</p> <p>接触回避 技術的対策 混触危険物質 保管条件</p> <p>容器包装材料</p>	
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	未設定
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
<p>設備対策</p> <p>呼吸器の保護具 手の保護具</p> <p>保護具</p> <p>眼の保護具 皮膚及び身体の保護具</p>	<p>ACGIH (ヒューム検討中)(2009年版) TWA 2mg/m³(レスピラブル粒子) STEL 10mg/m³(レスピラブル粒子)(2009年版) この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。 適切な呼吸器保護具(マスク)を着用すること。 適切な保護手袋(ゴム又はビニール手袋)を着用すること。 適切な眼の保護具を着用すること。 適切な保護衣を着用すること。 目、皮膚、衣服への接触を避ける。 取扱い後はよく手を洗うこと。</p>
衛生対策	
9. 物理的及び化学的性質	
<p>物理的状態</p> <p>形状</p> <p>色</p> <p>臭い</p> <p>比重(密度)</p> <p>溶解度</p> <p>引火点</p> <p>発火点</p>	<p>固体</p> <p>グリース状</p> <p>白色</p> <p>無臭</p> <p>2.45 (25°C)</p> <p>水：不溶</p> <p>330 °C</p> <p>450 °C</p>
10. 安定性及び反応性	
<p>安定性</p> <p>危険有害反応可能性</p>	<p>法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる 指示したとおりに使用すれば、危険有害な反応は起こらない。 危険な重合は起こらない。</p>
<p>避けるべき条件</p> <p>混触危険物質</p> <p>危険有害な分解生成物</p>	<p>熱や発火源から遠ざける。 酸、塩基あるいは酸化剤との接触を避ける。 一酸化炭素、二酸化炭素、ホルムアルデヒド、二酸化ケイ素、有毒な金属煙霧</p>

11. 有害性情報		
急性毒性	経口	データなし
	経皮	データなし
	吸入	データなし
皮膚腐食性・刺激性		データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性		データなし
呼吸器感受性又は皮膚感受性		データなし
生殖細胞変異原性		データなし
発がん性		データなし
生殖毒性		データなし
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)		本製品についてのデータはないが、成分データから区分2とした。
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)		本製品についてのデータはないが、成分データから区分1(肺、全身毒性)とした。
吸引性呼吸器有害性		本製品についてのデータはないが、成分データから区分1(肺・吸入)とした。 データなし
12. 環境影響情報		
水生環境急性有害性		本製品についての環境影響データはないが、成分データから区分1とした。 甲殻類(オオミジンコ)での48時間LC50 = 0.098mg Zn/L(酸化亜鉛換算濃度: 0.122 mg/L)(NITE初期リスク評価書, 2008)。
水生環境慢性有害性		本製品についての環境影響データはないが、成分データから区分1とした。 酸化亜鉛:急性毒性が区分1、生物蓄積性が低いもの(BGF=217(既存化学物質安全性点検データ))、金属化合物であり水中での挙動が不明であるため、区分1とした。
残留性・分解性		データなし
生体蓄積性		データなし
土壤中の移動性		本製品は非水溶性である。
オゾン層への有害性		データなし
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		本製品は廃棄物処理法に基づいて、産業廃棄物と分類される。 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
汚染容器及び包装		廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意		
国際規制	海上規制情報	IMOの規定に従う。
	UN No.	3077
	Proper Shipping Name.	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (ZINC OXIDE)
	Class	9
	Packing Group	III
	Marine Pollutant	P
	航空規制情報	ICAO・IATAの規定に従う。
	UN No.	3077
	Proper Shipping Name.	Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s. (ZINC OXIDE)
	Class	9
	Packing Group	III
国内規制	陸上規制情報	消防法 指定可燃物 合成樹脂類(3トン以上の場合)
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号	3077
	品名	環境有害物質(固体)(酸化亜鉛)
	クラス	9
	容器等級	III
	海洋汚染物質	P
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	国連番号	3077
	品名	環境有害物質(固体)(酸化亜鉛)
	クラス	9
	等級	3

特別安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
 重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

171

15. 適用法令
労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)(政令番号 第188号)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)(政令番号 第189号)

消防法

指定可燃物 合成樹脂類

16. その他の情報

参考文献

各データ毎に記載した。

改訂日

2015年4月28日

版数

第2版

記載内容の取扱い

本SDSは、作成時に入手可能な情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。記載内容は安全な取扱いのための情報提供を目的としており、化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしておりますので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。